

このような場合には下記のような対応が必要です。

このような話を同僚から聞いた場合も同じです。アドバイスをしてください。

対 応・・・①

要介護者が仕事の内容を認識していないようなら、事業者(雇い主)に説明してもらうようにします。そのためにも今までのできごとを詳しくメモしておくことが必要です。

また、要介護者に、「仕事」ということを折に触れ話すことも必要です。介護の現場では、女性のホームヘルパーに対して性的な対象としてみる私的な感情が持ち込まれている場合もあります。

対 応・・・②

要介護者には、わいせつな雑誌が不快であることを伝えます。ビデオや雑誌を一緒に見ようと言われたら、「仕事が終わったので帰宅します」と言えます。

また、要介護者の家族にも仕事をするうえで不快であることを伝えるようにしましょう。

事業主(雇い主)には「仕事がかどらない」ことを相談しましょう。今までにあったことをメモすることは、記録や証拠となります。

いずれの場合も、セクシュアル・ハラスメントに関して事業主(雇い主)が適切な対応を講じる必要がありますが、適切な対応がない場合、裏面の公的相談期間に相談されることをお勧めします。